



会派代表質問

## 「地方創生」の取り組みについて

創政

北田 宏彦 議員



問 「大網白里市まち・ひと・しごと創生の総合戦略」を策定し、5つの戦略を掲げているが、本市の将来は人口減少の側面から大変厳しい。現状の税収を維持していくためには、生産年齢人口を維持し、個人市民税などの税収を維持するか、または企業誘致などにより法人市民税や固定資産税の増収を図っていく必要がある。

答 ①総合戦略の各目標、施策の進捗状況を伺いたい。②27の基本目標、各施策のKPIによる検証、そして数値目標の達成状況を伺いたい。③地方創生交付金、推進・加速・拠点交付金などの総額及び施策ごとの交付金額とその効果を伺いたい。

問 「仕事をづくり、安心して働ける場所をつくる」として大網駅東地区画整理事業、国道128号沿道の活性化など雇用創出につながる都市基盤

### 関連質問

花澤 房義 議員



問 「九十九里かねとの煮干」及び「九十九里焼き田作り」が千葉ブランド水産物に認定された。今後はどうか。

答 千葉ブランド水産物は、県が水産物をブランド認定しPRする事で、県水産物の振興に寄与する事を目的とし、本市から2品が認定された。県全体では本年度8件の水産物が認定され、合計28件。市はこれを契機に、市内外へPRに努めます。

問 フィルムコミッション(FCC)に対する市の考え、今後の方針はどうか。

答 先般、白里海岸にてドラマ撮影がなされテレビ放映された。今後は、HPやSNS等を活用し、情報を多角的に発信する事で、市内が撮影場所として利用されるよう努めます。

観光協会のHPでもFCCのサイトを立ち上げたい。執行部は、観光を真剣に考え、情報発信に努められたい。

整備を着実に進めている。「賑わいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる」については、圏央道スマートIC・C整備事業、観光等プロモーション促進事業など市のイメージ向上と魅力発信強化事業に取り組んでいる。「若い世代が住みたくなる出産・子育て・教育環境を実現する」については、待機児童の解消、学童保育や放課後子ども教室を市内全ての学校で実施、延長保育の実施を進める。「子どもからお年寄りまですべての世代が安全で安心な暮らしができる地域をつくる」については、介護予防事業、健康教育事業等に取り組んでいる。また、津波避難タワーを完成し、築山の設置を進めている。

②KPIの平成28年度の実績値は、達成した指標は9、未達成が8、確定していないものが8である。

### 関連質問

田辺 正弘 議員



問 大網駅東地区画整理の進捗状況について、あえて駒込住民の一人として伺いたい。

答 現在工事を進めております都市計画道路の築造につきましては、大網駅東中央線の本年秋の開通と宅地造成工事を含めた都市基盤整備の概成を目指し、関係権利者や地元関係者の皆様の協力をいただきながら事業の推進に努めてまいります。

問 権利者の1名の方がいまだ協力をいただけないようですが、現在の状況についてお答えください。

答 権利者の方とは移転交渉を重ねておりますが、残念ながら、いまだにご理解を得られない状況です。仮に事業の進捗に大きな影響を及ぼすと判断される場合には、区画整理法第77条の規定による、権利者にかわり市が建物を移転できる直接施行の実施も選択肢の一つとなります。

③地方創生交付金額とその効果については、総額1億2,035万4,000円で、施策を継続的に実施することにより効果ありとの評価を頂いている。成果を重視した取り組みの展開をお願いしたい。またスマートIC・C周辺の整備方針を伺いたい。

答 スマートIC・C周辺の整備方針については、I・C開通が最終目的でなく、そこから人の流れをつくり経済波及効果を広げ、最終的には市の歳入増に繋げる必要がある。

このほか都市計画道路3・4・4号線(みどりが丘・丘山台間)の整備について、3・4・12号線(駅前交差点・駒込交差点間)に整備について、県道千葉大網線(スマートIC接続部・駒込交差点間)および県道千葉大網線に並行する小中川上流部の整備計画について、立地適正化計画の策定について、駅東地区画整理事業の進捗状況および駅南地区の整備について質問をします。

### 関連質問

森 建二 議員



◎防災・減災について

問 大災害時、職員の対応はどうか。

答 初動対応は、職員行動指針に基づき参集後、配置場所が被害状況の把握や住民へ情報伝達等を行います。

問 被災状況の情報集約はどうか。

答 県や気象庁からの地震・津波情報を防災電話やテレビ、インターネット等から収集します。市内の被災状況は消防団による巡回や消防署、警察署からの連絡から把握します。

問 地域防災計画では、ボランティアセンター立上げは社会福祉協議会が行うとある。情報共有はどうか。

答 災害発生時、ボランティアの受入れは社会福祉協議会が窓口となりセンターを立ち上げます。しかしボランティア運営について十分な連携が図られていないと言え、今後社協やボランティア団体等と綿密な連携を図り体制を整えます。

会派代表質問

## 大型事業だけではなく、市民にとって本場に役立つ事を行なうべきだ！

新政ネット

石渡 登志男 議員



九十九里浜の浸食問題、昨年の5月、私は調査してみた。浸食の根本的な要因は、砂の供給が絶たれた事ではない。現在でもいくら砂が供給されている。県の対策によるヘッドランドの設置は、浸食を抑制するものではなく、むしろ加速させる。ヘッドランドとヘッドランドの間はえぐられるのだ。その為県はその間にジャコゴと呼ばれる石を金網で包んだものを設置した。それと波により破壊されている。何度直しても同じ事の繰り返し。工事人ですら、あまり意味のない工事と言われている。浸食に対し、九十九里海岸のある場所

で魚網とロープを使い、海岸の砂浜を復活させた方がいるのだ。彼は潮の流れをコンクリート構造物でびたりと止めるな。ヘッドランドや突堤のようなコンクリート構造物を造ればもつと浸食を加速させてしまうという。養浜事業で運ばれている砂は、一部が片貝、太東漁港付近に漂着しているのではない。ヘッドランドと養浜事業が本場に効果があるのか、それを第3者機関によって十分に検証する必要がある。それなくして安易にやってはいけないのだ！この方と非

常に似たようなやり方でタイでは国の予算を使い、もの見事、復活させた。「民間人がやっているそんな事はあてにならない、学者が言っていることが正しいんだよ。」と言ったらば、その結果、一宮海岸がどうなったのか、その実態を見ればよい。今回の県の対策会議で、ある首長が砂浜がどんどん後退していく一方で、対策として合理性を欠いているのではと云っている。海をよく存している方の知恵を、すなわち民間人の力をもつて、思い切つてやらせても遅くはない。うまくいけば多額の税金投入も大幅に減り、砂浜が復活してくる。防波堤や港湾工事により潮の流れが変わってしまったこと、これが最大なる浸食を起した要因だ。

問 先ずはライフジャケット購入の補助金について。津波に対するライフジャケットについて私はとても否定的だったところが違っていた。ライフジャケットで助かった方々がいるのだ。津波で7km流されたにもかかわらずライフジャケットを着用していた為、このご夫妻は助かった。確かに漂流物の問題もある。でもこのように助かった方々もいるのだ。よって全てを否定すべきではない。

問 市の窓口業務については、もう少し住民サイドに寄り添った対応ができないか。

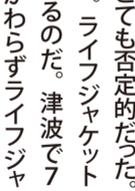
答 平成27年度に、接遇向上マニュアルを改訂し、意識向上に努めています。今後も意識の醸成や、能力の育成に努めていきます。

問 南消防署白里出張所が、移転予定の場所が広域農道沿いに予定されているのは、どのような理由か。

答 広域農道沿い(津波浸水エリア

### 関連質問

堀本 孝雄 議員



問 消防車両、機庫の交換、建て替えはどのようにしているのか。

答 市の消防施設整備計画に基づいて計画的に行っております。

問 波乗り道路のかさ上げが終わり、昨年12月には、供用開始されたが、海に通じる開口部への陸間(ゲート)はどうなっているのか。

答 県では現在検討中と聞いていますが、安全・安心を確保する為にも早期の工事着手を要望してまいります。

問 白里地域活性化の起爆剤となるべく計画された道の駅は、どうなっているのか。市長は、道の駅計画は必要であると答弁されているが、今でも、その気持ちは変わりないか伺います。

答 はい、そのとおりでございます。国交省は、道の駅を経済の好循環を地方に行き渡らせる強力なツールと位置づけ、平成28年には、道の駅を推奨しています。ぜひ実現可能な計画を構築して取り組んでいただきたいと思います。

その他に、波乗り道路工事に伴う仮設道路の撤去、北今泉市営住宅から北側道路の土砂堆積問題を質問。

失神しても体が上になり、頭を浮かせて気道が確保されるものもある。これについてどうか？

答 検証がなされていない為、ライフジャケットの購入にかかる補助金制度については今のところ考えていません。では白子町、一宮町、長生村がライフジャケットに対して補助金を出しているという事をどう考えるのか、これらの町は無能だという事なのか。そんな事ありませんでしょう。津波時、少しでも市民の命が助かるならば、それでよいのだ！

問 雨水貯留タンクについて。現在県内12の自治体で補助金として交付している。国も26年に雨水の利用の推進を行なうため、法律を制定し、施行した。水資源の有効利用だけではなく、災害時にも使える。生活用水として役立つ。茂原市では、雨どい取り付け型150ℓ以上で、2万5千円も補助を出している。

答 雨水貯留タンクは、雨水の有効活用にはつながると思われませんが、現状ではその設置に対する補助金制度は考えておりません。

雨水の利用促進は国も求めているのではない。国の基本方針として、市町村は市町村計画を定めることになつている。今回は非常に辛い、まるで唐辛子のような答弁だが、引き続き検討をお願いしたい。

問 白里地域活性化の起爆剤となるべく計画された道の駅は、どうなっているのか。市長は、道の駅計画は必要であると答弁されているが、今でも、その気持ちは変わりないか伺います。

答 はい、そのとおりでございます。国交省は、道の駅を経済の好循環を地方に行き渡らせる強力なツールと位置づけ、平成28年には、道の駅を推奨しています。ぜひ実現可能な計画を構築して取り組んでいただきたいと思います。

その他に、波乗り道路工事に伴う仮設道路の撤去、北今泉市営住宅から北側道路の土砂堆積問題を質問。

注 内容は各議員からの原稿をそのまま掲載しています。掲載の順番は、一般質問の登壇順となっています。